自分軸を磨く「体・言葉・意識」の技術

身口意ととのう脳活

心身の不調や人生の試練が伝える

4つの天才性

言葉と意識で自律神経をととのえる方法

自律神経専門鍼灸師
＆天才性再生コーチ
川上　哲寛

喘息歴30年の病弱な鍼灸師が
意識から体をととのえ真の健康体に
その技術をクライアントに施し、
20年のパニック障害も1ヵ月で解消

天才性が導く
真の健康体

たった2つの質問で
自分の天才性を見つけて
体・心・脳をととのえる
東洋医学×脳科学の叡智

はじめに

『心身の不調や人生の試練が伝える　４つの天才性』をダウンロードしていただき、誠にありがとうございます。

「仕事は好調だけど、毎日ヘトヘト…」
「きっかけさえ掴めれば、もっとうまくいくのに」
「コロナになってから、人生が行き詰まって、日々息苦しい」
「あれこれ考え過ぎて、気持ちが落ち着かない」
「自分の人生、これでいいのかな…」

こんな独り言を呟いたことがありませんか？
もし、そうだとしたら、

超ラッキーですね！

こういった不都合な現実は、あなたにとって悪者ではありません。ただ、「このまま放っておくと、そのうち人生がズレていきますよ」ということを教えてくれる大切なサインです。

実は、人生で起きるネガティブな出来事には、それと向き合ことで、逆に人生が好転していく、お宝情報がたくさん隠れています。

この PDF 書籍には、あなたの内側に眠っている天才性を見つけ、体の回復力を引き出すための、超重要な情報が記載されています。

では、これから、私と一緒に、あなただけの天才性を見つけにいきましょう！

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

はじめまして！私は、臨床 20 年以上の鍼灸師で、『天才性再生コーチ』の川上哲寛です。

自分の天才性に従って、真の健康を創りたい方のための『身口意ととのう脳活』を提供しています。

『身口意ととのう脳活』は、私が東洋医学・キネシオロジー・脳科学などの研究によって培った、体・心・脳を三位一体で統合するメソッドです。

私は鍼灸師として、日々、「人が健康的な生活を送り続けていくには、どうしたらいいのか」探求してきました。その結果、運動、食事はもちろん大切ですが、「自分はこうしたい」という本心に従って生きることが、一番の健康の土台になる、という結論に達しました。

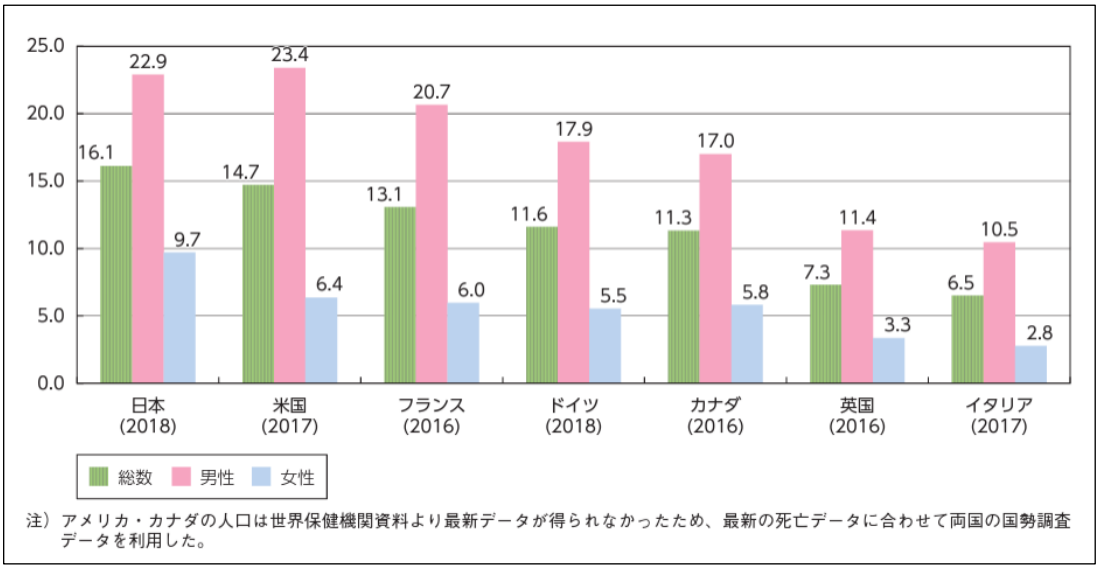
なぜなら、人は内側からの欲求から行動すると、それだけで最も活力に満ち溢れ出すからです。

反対に、自分の本心を押し殺して、他人の価値観や社会常識に合わせ過ぎてしまうと、その人らしさが失い、活力も落ちてしまいます。本心に従って生きれるかどうか、事実、幸せの感じ方に大きく影響します。

2023 年の国連が公表した世界幸福度ランキングによると、日本は 137 ヶ国中 47 位、主要 7 ヶ国中で最下位でした。

この幸福度の低さは、自殺死亡率にも、そのまま反映されています。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

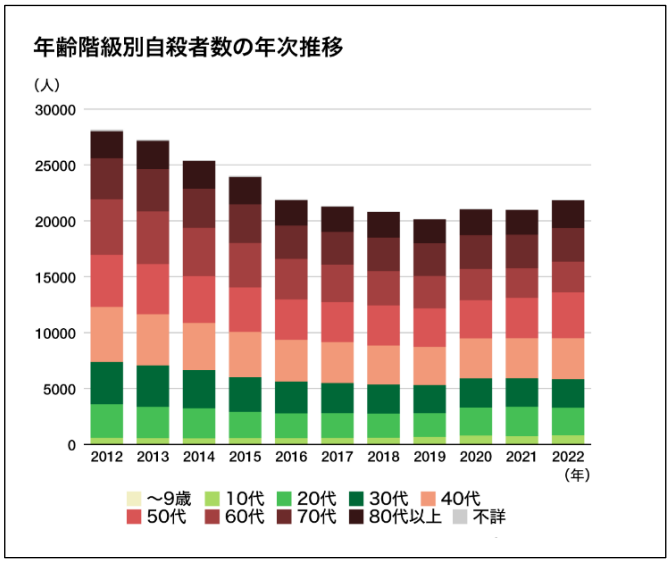


＜世界保健機関資料（2021 年）より厚生労働省自殺対策推進室作成＞

また、年齢階層別の幸福度は、先進国、発展途上国、ともに 40 代後半が最も低く、これは世界共通の課題です。

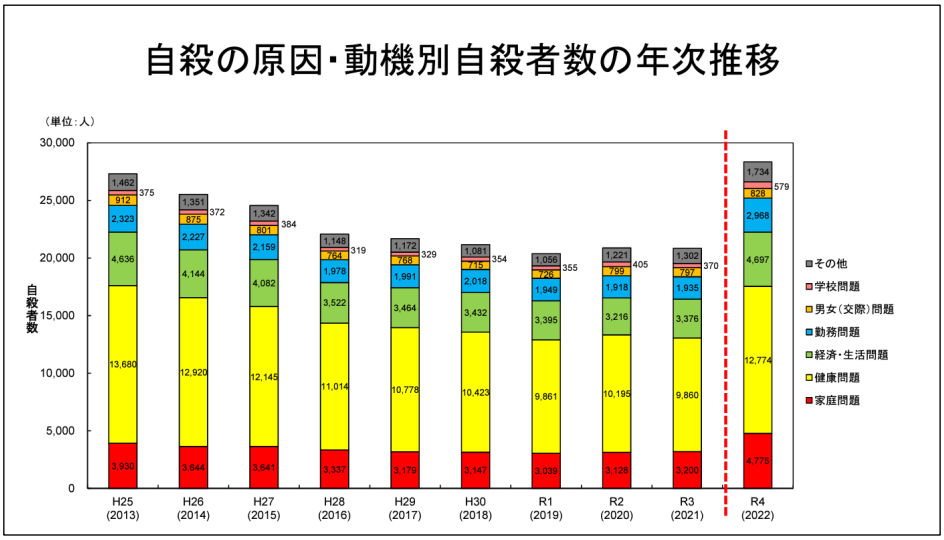
その理由として、40 歳代後半は、社会的な役割を果たすことに懸命になり、本心を呑み込み続けていることが推測されます。

また、40 代後半の幸福度の低さは、自殺率の年齢階級別にも現れており、2022 年は 50 歳代 4,093（18,7%）、40 歳代 3,665 人（16,7%）と上位 1・2 位を占めています。



無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

日本での自殺の原因・動機として挙げられるのが、2 位以下を大きく離して、健康面の問題です。



＜共に警察庁自殺統計票データより厚生労働省作成＞

40 歳～50 歳代の幸福感の低さと自殺率の高さ、そして自殺率の原因のトップが健康面、これらのデーターを重ね合わせると、今、私たちは何を考える必要があるのでしょうか？

そもそも、どのような健康観をお持ちですか？詳しくは第 3 章でお伝えしますが、病気・症状は、本人が言葉で表現していないことを、体が言葉の代わりに教えてくれるメッセージです。

実は、「症状は、何を表現しようとしているのか？」という観点から、体を通じて本心の声を聴き出せると、体はととのい始めます。

だからこそ、40 歳～50 歳代の方に「まず、自分の本心に素直になって体を見つめ直しませんか？」という想いが、本書のタイトルに込められています。

私の周りの 60 歳代以降の方々を見ても、本心に素直に生きている方ほど、美しく年齢を重ねられています。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

この場合の“美しさ”は、単に外見だけではなく、心も体もバランスが取れた状態のことです。

「体・言葉・意識」を切り口にして、健康的に人生をやり直していくにはどうすればいいのか、皆さんと一緒に考えていく機会になれば嬉しく思います。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

心身の不調や人生の試練が伝える　４つの天才性　もくじ

はじめに　1

第１章／天才性に従って美しく年を重ねる

「天命」に通ずる天才性　8
今こそ天才性を取り戻すチャンス　12
誰にも備わる天才性を発掘する２つの視点　16
自分だけの天才性をどう活用するか？　25
四魂に内在する 108 つの価値観ワード　31

第２章／「逆境力」～折れない心を鍛える技術

あなたの天才性を磨く「７つの試練」　36
あなたがハマりやすい逆境を特定する「77 の神クエスチョン」　38
「７つの試練診断」の解説　65
喘息から得た「私の人生の目的」　78

第３章／人生 100 年時代、天才性で生きる健康観

病気は必要？　89
宇宙の法則に従う『陰陽思考』　91
症状が伝える体からのメッセージに早く気づこう！　96

第４章／ピンチをチャンスに変える　セルフイメージ・アップデートの秘訣

『脳内の神』を育て直す３つのステップ　107
ネガティブ状態から抜け出す ESR　109
ESR で人前で話すことを解消した事例　111
緊急事態 !! 脳がサバイバル状態になるメカニズム　113
サバイバル状態から「天才性」を取り戻す ESR　115

おわりに　121

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

第１章
天才性に従って美しく年を重ねる

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

「天命」に通ずる天才性

「四十にして惑わず、五十にして天命を知る」

これは、『論語』にある有名な言葉ですが、ご自身の天命をご存じでしょうか？

「私の天命は〇〇です」とハッキリと言い切りにくいですよね。

本書では、「天命」を掴むために、「天才性」という切り口にして、お伝えしていきます。

では、この「天才性」という言葉に、何を思うでしょうか？

スポーツ、芸術などに秀でている人達のこと？
あるいは、ビジネスで大成功を収めた人？
それとも、IQ120～130 以上もある人？

また、自分とはかけ離れた人達だと思われているかもしれません。

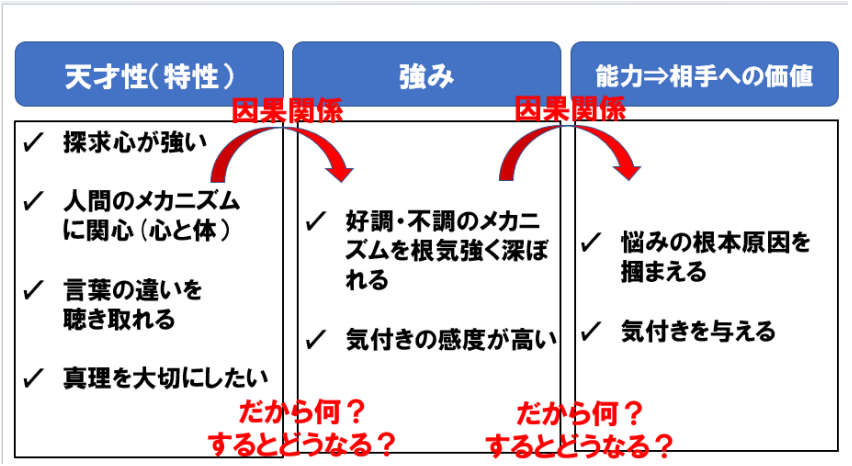
では、天才と言われる人は、どのように育ってきたのでしょうか？親からの遺伝？それとも英才教育？

いやいやいや、それらは一つの環境要因でしかありません。「天才性」と「天才」は、その出どころが違います。

天才性とは、 誰の体にも備わっている、その人ならではの存在特性のことです。天才性は誰かと比較して優劣や比較対象ではありません。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

似た概念の強み・能力と、どう違うのでしょうか？下の図のように因果関係になっています。



また、天才は、天才性に従って行動したことの後の上手か下手かの「行為の結果」が問われます。

２つの違いは、次のように、表現の仕方に現れています。

「～の天才性は〇〇です」と表現する場合、たとえば、「私の天才性は、探求心です」と「～」に人が入ることから、天才性は、人に「内在する性質」ということが分かります。

一方、「人は、～の天才です」と表現する場合、「大谷翔平は、打撃の天才です」「矢沢永吉は、ロック界の天才です」と「～」に「ものごと」「属性」が入ります。

天才は、人が行為した「結果」なので、行為の「上手・下手」に焦点が当たりやすくなります。

また、能力も、天才性と同様、「能力は〇〇です」と表現されます。

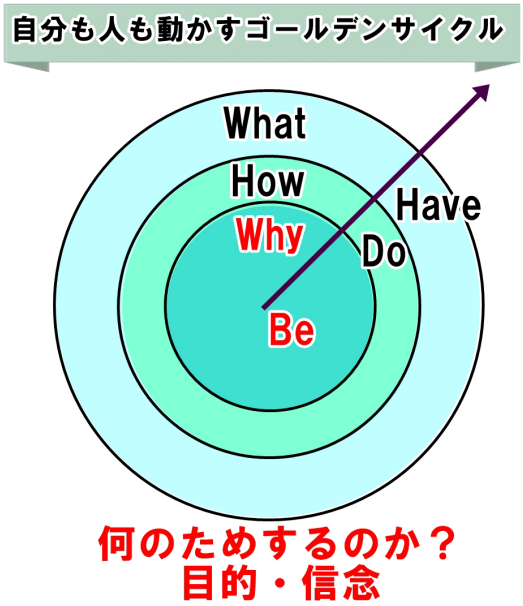
無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

しかし、他者と「比較」の対象にされやすく、天才と同様、行為した「結果の是非」に焦点が当たるため、その人固有の特性である天才性と異なります。

では、天才性を示す存在特性とは、一体、何でしょうか？存在は、目に見える形のあるものではありません。なので、人が行動して結果を得るまでの流れを簡易的に示した、下の図を基に考えてみましょう。

この図から読み取れることは、目に見える形として「行動（Do)」し、「結果（Have)」を得るまでの根っこが、「存在（Be)」です。

そして、「存在・行動・結果」は、それぞれ「Why・How・What」の疑問詞に対応します。



このことから、何か理想の結果を得ようとするなら、根本の「自分は、何のために何を成し遂げたいのか？」といった、欲求の目的・理由を明確にすることが、天才性発掘の最初の一歩です。

そこで、目的・理由を明らかにするには、得たい結果に対して「何のために必要？」という問いによって、明らかになります。

この「何のため？」を繰り返し問いかけていくと、ダイヤモンドを磨くように、その人の**「欲求の核心」としての天才性**が明確なります。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

「何のために？」に対して答える際、よくあることは途中で言葉に詰まったり、同じ答えを繰り返してしまうことです。

なので、ざっくりと、「挑戦・達成・実現」「命を育むこと」「人とのつながり」「未知への探求」のいずれかに、価値を感じるか、それが目的を見つけるヒントとなります。

一つでも特定できたら、そこから「具体的にどんなこと？」「するとどうなる？」といった問いかけで掘り下げていきます。そして、再び、「何のため？」という問い掛けに戻すと、「このために、自分の人生があったのか‼」という、ご自身の目的がはっきりすることでしょう。

その目的を言語化したものが天才性でもあり、あなたの天命にもつながります。

天命・天才性が明確になると、脳が目的に焦点を当てるようになります。そして、目的の実現に向けて、体に適切な指令を送って、新たな神経回路が開通し出します。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

今こそ天才性を取り戻すチャンス

私は鍼灸や脳活のクライアントさんの施術するに当たり、その方の口癖に関心をもって、お話をお聴きしています。

なぜなら、口癖には、その人特有の「脳の動かし方」が如実に現われるからです。

たとえば、「～しなければならない」という表現が多い場合、普段から義務感で生活していることが想像されます。

そして、その背景として、幼少期、両親のどちらかが、命令口調で育ってきたんだろうな、といった、生育環境も推測されます。

生育環境を知ることで、その人がどんな「信念（どんなルールで生きているか？）」や 「価値観（どんなことを大切にしているのか？）」を持っているか認識しやすくなります。

この信念・価値観が、その方の意識決定の基準になります。

逆に言うと、自分の信念・価値観を認識していないと、無自覚に、他人の価値観や社会常識に左右されやすくなります。そうなると、「見えない何かに振り回されている」感覚が強くなり、主体的に自分の人生を生きにくくなってしまいます。

自分の価値観に気付くだけで、脳は、心と手を取り、お互いに喜び合います。そうすることで、脳は神経経路を通じて、質の良い伝達信号を送り、エネルギー循環も良くなっていくので、体が元気になってい

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

きます。

このように、脳と心と体が、**三位一体となって調和がとれている状態**が、健康の土台となります。

このような状態になると、人は天才性に従って、高い次元からの視点や問いを持つことができます。

また、ネガティブな出来事に遭遇しても、反対のポジティブな側面を見つけられるようになります。

では、どうすれば、天才性に従って過ごせるのでしょうか？

それには、自分にはどのような「天才性」が備わっているか認識する必要があります。

とは言っても、自分の天才性が何であるか認識するのは、なかなか容易ではないかもしれません。

ここで、私が、臨床の現場で、天才性に着目するようになった「きっかけ」についてお話させていただきます。

それは、自分自身の施術での、次のような疑問からです。

鍼灸院に来院される患者さんは、症状を治す目的で来院されているため、「肩が凝る」「腰が痛い」「〇〇のとき、不安になる」といったネガティブなことを中心にお話されるのは、当然のことです。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

私自身、そんな患者さんの症状改善の力になろうと、10 年以上、症状の根本原因を探し出すために、症状に関連するネガティブな要素ばかり聴き出していきました。

しかし、ネガティブ面に焦点を当てるほど、その人自身が、ネガティブな人しか見えなくなってしまったのです。

実際は、ポジティブな側面があることが分かっていながらも、一度、付けてしまった「ネガティブな人」のレッテルは、なかなか剝がせません。

自分でも「これは、何かおかしい」と違和感を抱き、その反対のポジティブな側面を聴き出すようにしました。

すると、ポジティブな場面をイメージし、その体の感覚を味わってもらうだけで、鍼の施術前に症状が緩和することが、何度も繰り返すようになりました。

こうしてポジティブ要素を深掘りして、複数の共通項を繋ぎ合わせると、その人らしさを示す特性であることが分かりました。

また、価値観を感じているときの「状態（Be)」で、その感覚を言語化したものが「天才性」となることを発見したのです。

そうした、20 年以上の臨床経験を通じて、あらゆる病気・症状の根本要因は、自分らしさを示す天才性を活用できないことにあると確信したのです。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

特に、コロナショック以降、自律神経やメンタルの調子を崩されている方の施術を通じて、なおさら、そのように感じています。

では、一体、何が天才性の発揮を邪魔しているのでしょうか？その多くは、過去の記憶が原因です。

親のしつけ、学校生活での人からの評価など、そういった他人の価値観が、知らず知らずに脳に染み込み、自分の価値観に従って生きられなくなった…

そういった過去の記憶が、“見えない鎖”となって、その人本来の天才性の発揮を制限しています。

だからといって、落ち込んでばかりはいられません。不安がまん延している、現在だからこそ、天才性を取り戻すチャンスです。

では、どうしたら、私たちは、自分自身の天才性に従って生きられるでしょうか？

そこで、次のパートで、「欲求」と「個性」、２つの切り口から天才性を発掘する方法をご紹介します。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

誰にも備わる天才性を発掘する２つの視点

ここまで、ご覧になられても、まだ自分には天才性が無いかもと思われる方がおられるかもしれません。

そこで、「天才性」を簡単に発掘できるように、「欲求」「個性」の２つの視点から発掘する方法をご紹介します。

◆「欲求」から発掘する

人は自分がやりたいことに夢中になっている時、努力せずともというのが、天才性の状態です。この時の状態を、端的に言語化することが、とても大切です。

そこで、私の鍼灸院に来院された事例をご紹介しましょう。

ある 60 過ぎの男性が来院されました。その方を仮に A さんとします。

A さんは、60 過ぎの建築の設計士の方で、「胃腸の不快症状、鼻が詰まる、胸が息苦しい」をメインで、他に自律神経症状がお困りということで来院された方です。

これらの症状のメッセージとして、

胃腸症状は、新しい状況を呑み込めない
鼻詰まりは、自分の存在価値が脅かされている
胸の息苦しさは、まさに息苦しい生活をしている

といったことがあります。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

そこで、「何か呑み込めないこととか、ご自身の存在が脅かされているようなことがありますか？」とお聞きすると、

「1 年前に会社の上司が変わったことで、仕事のやり方が丸っきり変わって、戸惑っていました。変わった上司と意見が対立し、まさに上司の方針を呑み込めませんでした」

ということでした。更に、60 を過ぎて、新しい環境の中、こんな将来の不安があると仰っていました。

「痴呆症になったらどうしよう」
「施設に入ったらどうしよう」
「ジョギングできなくなったらどうしよう」
「コロナに感染したらどうしよう」

こういった不安感を抱えながら、日々、生活していたそうです。

そこで、私が「その独り言は、どこからくるものですか？」と聞きました。

A さんは、戸惑って、答えられなかったので、そこを丁寧に深堀し、その奥に、「何かが、良くないことが起こるかもしれない」といった信じ込みがあることを特定できました。

この信じ込みは、建築設計というリスク管理を重視されている仕事柄が影響しているかもしれません。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

しかし、その根底に、ご両親が心配性だったことが関与していることが分かりました。

そこで、私は

『「何か良くないことが起きるかもしれない」という前提を持ち続けていると、そりゃ良くないことが起きますよ。その信じ込みは、受け身で自分を弱体化させる言葉です。「私は、何かを起こす存在だ」という立場を選択した時、先ほどのような独り言が出そうですか？』

と言うと、Aさんは「よく、分かりません」と答えられました。

「いやいやいや、分からないって、ご自身のことじゃないですか？自己放棄していたら治るものも治りませんよ」と私は伝えました。

Aさんは困惑されている様子だったので、質問の矛先を変えて、「ところで、何をしている時、一番、夢中になっていますか？」とお聞きしました。

すると、「園芸など、植物を育てている時は、何もかも忘れていますね」と即答されました。

ここに、解決のカギがあると閃き、「植物の何に価値を感じますか？」とお聞きすると、「植物を育て、その成長を見ることで、生命力を感じられる」ということでした。

私は、すかさず「それですよ。その感覚を、ご自身の内側に向けてく

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

ださい」とお伝えしました。

更に、「自律神経は、昔は植物神経と呼ばれた時期がありました。なので、自分の自律神経を、植物を育てるような感覚をご自身に向けてみてはどうでしょう？

その感覚を自分のモノになるように、参考までに、私が今日の施術のゴールとなる文章をお伝えします。あとは、自分の言葉に作り替えて語ってください」と提案しました。

そうして、やりとりを進めながら、遂にＡさんは、「私は、自ら人生の第２ステージを起こしていくために、自分自身の生命力を育てていきます」と堂々と語られました。

そう語られてたＡさんは、症状や不安感について語っている時の様子とはまるっきり別人でした。

「Ａさん、今、鼻づまりや、息苦しさはどうですか？」と伺うと、

「えっ⁉鼻、通っています、息もしやすいです」と嬉しそうにお答えになられました。

このように、好きなことに夢中になっている時、それを思い出すだけでも、人は天才性を発揮している時の神経回路が巡りだし、こちらが治療を施さなくても、回復してくるのです。

最初は、このように好きなことに取り組んでいることから天才性を見

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

つけていくことで OK です。

天才性の上級者になると、普段から「存在（Be)」「自分の目的」に焦点を当らっているので、何をやっていても、「好き・幸せ」状態から始められます。

その例え話が、有名なイソップの寓話の「3 人のレンガ職人」です。

中世のとあるヨーロッパの町。

旅人がある町を歩いていると、汗をたらたらと流しながら、重たいレンガを運んでは積み、運んでは積みを繰り返している 3 人のレンガ職人に出会いました。

そこで旅人は「何をしているのですか？」と尋ねました。すると、その 3 人のレンガ職人は次のように答えました。

1 人目は、
「そんなこと見ればわかるだろ。親方の命令で“レンガ”を積んでいるんだよ。暑くて大変だから、もういい加減こりごりだ」と答えました。

2 人目は、
「レンガを積んで“壁”を作っているんだ。この仕事は大変だけど、金（カネ）が良いからやっているのさ」と。

3 人目は、
「レンガを積んで、後世に残る“大聖堂”を造っているんだ。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

こんな仕事に就けてとても光栄だよ」と。

3 人のレンガ職人は、「レンガを積んでいる」という仕事は同じです。仕事の内容や役割が同じなので、賃金もほとんど変わりません。

しかし、「仕事の目的」がまったく違います。働く意識、目的意識が全く違うのです。

1 人目は、希望・夢・志などの使命感はまったくありません。ただ言われたからやる。言われなければやらない。ただ“レンガ”しか見ていません。作業としての仕事、労役としか感じていません。

2 人目は“お金を稼ぐため”に否応なしに働いている。“壁”しか見えていません。「もっとお金になる仕事はないか」と頭の中はそれしかないでしょう。

3 人目は、
「後世に残る歴史的事業に参加して町中の人を笑顔にするため」という志を抱き、明確な目的意識を持って働いています。100 年以上先に完成する“大聖堂”建設のため、仕事を“使命”と感じています。

「3 人のレンガ職人」の違いは、認知の焦点が「目的」に向かっているか、そこから「使命」「天命」まで延長しているか否かで、やっていることの意味・価値が、別次元で変わることを示してくれている、いい例です。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

◆個性から発掘する

天才性を発掘する方法の２つ目は「どんな個性を持っているか？」を認識することです。

でも、自分自身の個性を特定するのは、難しいですよね。

そこで、パーソナル分類を利用して、ご自身の個性を知るための材料を集めましょう。

パーソナル分類には、交流分析、ウェルスダイナミクス、エニアグラムなど古今東西、様々あります。

私の場合、人間の存在特性を観るものさしとして、神道に伝わる「一霊四魂」を採用しています。

尚、これからお伝えする内容は、現在の日常生活での実用面を優先させて、東洋医学や心理学の概念を交えて、私なりにアレンジしたものです。なので、専門的に研究している方との解釈と多々、違う点があることをお断りします。

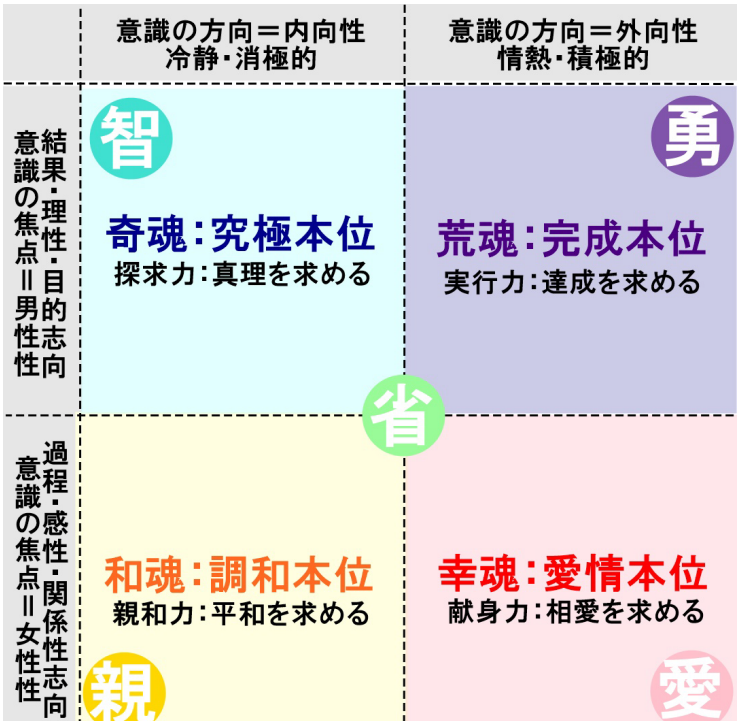
まず、「一霊四魂」について、詳しく説明する前に、次の２つの質問にお答えください。

◇「**あなたは、ものごとに情熱的に対応する方ですか？**
あるいは冷静に対応する方ですか？」
◇「**あなたは、ものごとの結果を重視しますか？**
それとも経過を重視しますか？」

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

この２つの問いは、「意識の進み方」「意識の焦点の当て方」を認識するためのもので、マトリクスとして表したのが、下の図です。

◆四魂マトリクス



この２つの意識の傾向を認識することで、天才性としての自分自身の「存在特性」を掴みやすくなります。

では、この四魂マトリクスを基に、「一霊四魂」についてお話します。

まず、最初に押さえるポイントは…四魂は、次のような人間本来に備わっている力のことです。

勇（荒魂＝あらみたま）⇒実行力：前に進める力
智（奇魂＝くしみたま）⇒探求力：観察・分析・理解する力
愛（幸魂＝さちみたま）⇒献身力：豊かな感情表現力
和（和魂＝にぎみたま）⇒親和力：親しみ交わる力

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

神道では、ヒト（霊止）は、一霊である「直霊（なおひ）」が天と繋がっている存在だと考えられています。その「直霊」が四魂を統合し、存在そのものを管理しています。

「直霊」は、マトリクス上では、中央の「省」に位置して、四魂を統合し、存在そのものを管理しています。そして、場面・状況に応じて自身の振る舞いが適切だったか、「省みる」役割を担っています。

つまり、「直霊＝省」とは、存在の司令塔として、『心神』、「脳内の神」と同じ意味です。

さて、誰もが四魂の特性要素を備えています。ただ、「時・場所・人」などの状況に応じて、意識の焦点の当て方や進め方を変えながら、無自覚に四魂の特性要素を使い分けています。

たとえば、家族の前では「愛」モードとして振る舞うけど、仕事場では「勇」モードで振る舞う…というように、人は、時、場所、関係者など状況ごとに、衣服を脱ぎ着するように、無意識的に四魂を使い分けています。

この四魂の特性を、どう使っているかを把握できると、より自分だけの天才性を発揮しやすくなります。

そこで、次のパートで、自分の天才性をより自覚して掴んでいくために、四魂の行動特性と「脳の動かし方」について、具体的にみていきましょう。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

自分だけの天才性をどう活用するか？

普段から、自分はどのように世界を「知覚」しているのか、それを「認知」することが天才性を発掘する一歩になります。

下の図は、意識がどんな「行動」に向かっているのか、四魂の視点から表したものです。

意識の方向性の傾向を知ることで、より自分の天才性を掴みやすくなります。

「荒魂」：イメージを描き、実現に向けて進める

「幸魂」：人を想い、生を愛でる

「和魂」：現象の変化を観て、関係性を調える

「奇魂」：自然・体の理を感じ、頭で考える

ここで、“意識”とは何かついて定義しておきましょう。意識とは、自分の内側と外側の世界がどうなっているかを、認識する主体のことを言います。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

１日の終わりに、自分がどのように知覚・認知・行動していたか振り返ることで、自分自身の意識がどう動き、どこに向かっているか理解しやすくなります。

その際、意識の動きを示す指標として、四魂の考え方が便利です。

例えば、夜、会社からの帰宅後、次のように、意識の動きをフィードバックできるでしょう。

上司との人間関係で、「あんなこと言われて、腹が立った〜。今、思い出してもイライラする。あっ、でも【勇】の立場で反発していたな〜」とか、

また、プロジェクトの進行状況において「あっ、あそこがチェック不足で抜けている。今から間に合わない。どうしよう…。よし、他のスタッフの力を借りて対応できた。

それも【親】【智】の立場で全体状況を観て感じ、その後、【勇】【愛】の立場に切り替えられたからだな。

あと、相手の立場を気遣いながら、進んでヘルプをお願いしていたな。だから、大きなトラブルに至らずに済んだ」

と、このように、出来事を通じて、自らの言動を振り返ることで、脳内の情報が整理され、意識が整っていきます。

また、人の意識の働かせ方について、私の心理療法の師匠で、「言葉で

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

ガン患者を治す」をコンセプトとされている梯谷幸司先生にこのように教わりました。

お掃除で、「片づけられる人」と「片づけられない人」がいます。

この２人に、どんな違いがあるでしょうか？その違いは、脳内の情報処理プロセスにハッキリと現れています。

＜片づけられる人＞
部屋を観て、「よっし、掃除をしよう！」と想う
↓
掃除をし終わった後の映像をイメージで描く
↓
「あ〜、スッキリした！」と感じる
↓
「掃除を始めよう」と段取りを考える
↓
「よっし、始めよう」と実際に体を動かして、掃除を完了する
↓
「あ〜、スッキリした！」と実際の掃除完了後のスッキリ感を感じる

＜片づけられない人＞
部屋を観て、「よっし、掃除をしよう！」と想う
↓
「あれして、これして」と段取りを考える
↓
「何か、面倒くさいな」と感じる

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

↓

「あっ!?他にあれをやらないとヤバい」と想う

↓

「掃除している場合じゃない」という映像をイメージで描く

↓

掃除以外のことをやり始める

「片づけられる人」は、段取りを考える前に、先に達成したい未来を映像として描き、一度「スッキリ感」を感じてから、掃除に取り組んでいます。

従って、実行前に、完了したときの感覚を味わってから物事に取り組むと、より完了しやすくなるということです。

一方、「片づけられない人」は、段取りを考える途中で、「面倒くさい」という感情に引っ張られ、掃除後の「スッキリ感」が置き去りされてしまいます。

この意識と行動の連動のさせ方を梯谷先生から教えていただいたことで、私自身も後者の人と同じ意識状態になることを発見しました。

それは、実際に、ある講座を受けていた時の話しです。講座期間中、東京の大井町のホテルに滞在していました。

私は、毎朝 6 時前に起床するので、講座開始の 10 時には、会場の目黒まで、十分に余裕を持って過ごせます。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

しかし、いざ、会場に行こうとすると、突然、トイレを催し出して、いつもより用が長くなったり、あるいはホテル内の飲食店のメニューを見て「あっ、美味しそう」と気になって、電車に乗り遅れ、遅刻することがありました。

このことも、「片づけられない人」と同様に、物事を始める前に、完成予想図を描いていないために引き起こしてしまう現象です。

このように、不都合な現実が起きた時、後から行動とそのときの意識の流れを振り返って認識することで、軌道修正しやすくなります。

以上を、まとめると、

◆未来の自分が達成したいことを、
既に達成したかのように思い描いてから行動する

◆実行後、改めて行動を振り返る

この２点が、天才性に忠実に生きていく基本となるポイントです。
あと、もう１点、より天才性を発揮するために、大事なことがあります。

それは、自分が、**どんな価値観を持って行動しているのか**、予め認識しておくことです。

なぜなら、人は自分の価値観に従っているとき、誰もが自然と天才性を発揮しているからです。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

ところが、自分がどんな価値観を持っているか、認識できている人は、ほとんどいません。

そこで、価値観を浮上させる、次の質問に回答してみてください。

「あなたは、どこで何をしている時に、
満たされていると感じますか？
それは、次の４つの幸せのうち、どれに該当しますか？」

＜４つの幸せと四魂＞
新しい体験を実現する⇒勇（荒魂）
自分や他者を受け入れ、互いを大切にする⇒愛（幸魂）
人とのつながりを感じる⇒親（和魂）
未知の世界を探求する⇒智（奇魂）

価値観は、自分にとっての幸せとリンクします。どんなとき「幸せ」を感じるかイメージして、その感覚を言語化してみましょう。言語化することで、よりご体感覚として定着しやすくなります。

とは言っても、価値観を言語化するのも難しいので、４つの天才性と関連する価値観ワードを 108 個、ご紹介します。

ご自身の該当する四魂のカテゴリーの中から、直感でいくつか連想される言葉を選択してみて、それをより自分サイズの言葉にカスタマイズされることをお勧めします。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

四魂に内在する 108 の価値観ワード

意識の方向（進退）＝内向・冷静・消極的（陰）	意識の方向（進退）＝外向・情熱・積極的（陽）
奇魂/体：智 **探究力：真理を求める** 価値観：評価・弁別・センスを優先、分かるか分からないか 聴き方：＋もっと知りたい、 －興味がない、相手が間違っている ログセ：面白い、ムダをしたくない、失敗したくない 人からの批判：理屈ばっかりで行動しない 恐れ・不安：能力がない、バカだと思われたくない **天命：物事の真理を探究する**	**荒魂/体：勇** **実行力：達成を求める** 価値観：実現・結果を優先、できるかどうか 聴き方：＋やるかどうか －無理だ、自信が無い ログセ：思い切ってやろう、やってみないと分からない 人からの批判：単細胞、無茶する 恐れ・不安：誰もついてこない、孤独だ **天命：大義のために前進し、切り拓いていく**

意識の焦点（男性性）＝結果・理性・目的志向				
	1	工夫：技術や趣向を凝らすこと	28	推進・前進：目標に向かって捗るようにすること
	2	感性：直観的に、深遠な真理を感じ悟ること	29	成果：何かを成し遂げたことで得られた結果
	3	察知：周りの微細な変化を汲み取ること	30	奮起：力の限り立ち向かい、周りに勇気を示すこと
	4	覚悟：真実の道理を悟ること	31	奮発：思い切りよく、金銭を出すこと
	5	自覚：自分の状況・価値を知ること	32	勤勉：決めたことをコツコツ取り組むこと
	6	合理性：道理に適った性質があること	33	克服・突破：限界や障害など困難を乗り越えること
	7	知恵：物事の筋道を判断し、上手く処理していくこと	34	勇気：物怖じせずに立ち向かうこと
	8	発想・ひらめき：新しい考えや思いつきを得ること	35	決断：大胆に、スパッと自分で決めること
	9	発見・発掘：価値のあるものを見つけ出すこと	36	毅然：信念をしっかりと定めること
	10	裁量：解決のために、慎重に意思決定をすること	37	果敢：決断して、物事を思い切ってやること
	11	名誉：評価を得て授かった名を輝かすこと	38	行為：作用を及ぼすために、意図して行うこと
	12	評価：価値があるか見定めること	39	気位・気品：大義を持って品位を高く保つこと
	13	解決：問題をうまく処理すること	40	達成・実現：計画・願望を現実化させること
	14	計画：目標到達のために方法・手順を考えること	41	挑戦・冒険：困難や新しいことに取り組むこと
	15	企画：新しい事業を立案すること	42	手本：身を持って模範となること
	16	分析・調査：物事を分解し、性質を明らかにすること	43	感化：人に考え方を共感と影響を与えること
	17	信用：データーや実績から、人・物事を信じること	44	変革・改革：状態・方法・仕組みを一新すること
	18	確信：固く信じ疑わないこと	45	継続：目的の実現のためにやり続けること
	19	選択：よいもの・目的に適うものを選ぶこと	46	開拓：新しい分野・領域を切り開くこと
	20	研鑽：学問や芸が上達するよう、修練すること	47	可能性：物事が実現する見込み
	21	厳格：規律に厳しく、不正や怠慢を許さないこと	48	忍耐：達成するまで我慢すること
	22	優雅：上品に美しく整っているさま	49	鍛錬：技術や心身をしっかりしたものにすること
	23	芸術：芸術美の創作を楽しむ	50	破壊：物事の性質・機能を失わせる行為
	24	直感：対象の本質を体感覚的に捉える	51	楽天・愉快：物事を前向きに、気楽に捉えること
	25	探求心：物事の真理を究明する心	52	好奇心：物事に興味・関心を向ける心
	26	究極：物事を突き詰め、きわめること	53	自立：自分の課題に主体的に取り組むこと
	27	感謝：欠けがあるからこそ、有難さを感じられる心	54	自由：主体的に行動していこうとする意思

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

四魂に内在する 108 の価値観ワード

意識の方向（進退）＝内向・冷静・消極的（陰）	意識の方向（進退）＝外交・情熱・積極的（陽）
和魂/体：親 **親和力：平和を求める** 価値観：組織の親和性を優先、関係あるかないか 聴き方：＋皆のために自分は役に立てるか －排除しよう、仲間のためにならない ログセ：皆が言うから、力になりたい 人からの批判：自分がない、何を考えているか分からない 恐れ・不安：仲間外れにされるかも、役に立っていないかも **天命：皆の和合のために貢献する**	**幸魂/体：愛** **献身力：相愛を求める** 価値観：一対一の感情を優先、好きか嫌いか 聴き方：＋（誰かに）必要とされているか －何かやってほしい、理解されない ログセ：（～が）幸せになるように、思いやりが大切 人からの批判：自分勝手、暑苦しい、話が長い 恐れ・不安：嫌われている、必要とされない **天命：人を育て癒し、無償の愛を与える**

意識の焦点（女性性）＝経過・感性・関係性志向				
55	平和：環境を穏やかにすること	82	利益（りやく）：愛情・恩恵・幸福を施すこと
56	修身：環境を通じて自らの身を律すること	83	創造：新しい考えやものを生み出すこと
57	潔斎：神・自然の調和のために心身を清めること	84	新生：生まれ変わった気持ちでの再出発
58	政治：重要人物を繋ぎ、大きな組織を取り仕切ること	85	再生：生気を取り戻すこと、生まれ変わること
59	交流：相手の良いところをみて繋がること	86	受容・寛容：人・現象のそのままを受け入れる
60	統制・制定：組織をまとめるために決めごとを作る	87	変化・変容：雰囲気・存在が一新すること
61	自律：自分の基準に従って行動すること	88	教育：知識、技術を教え授け、 人を善い方に導くこと
62	作法：自らの立ち振る舞いを整えること	89	育成：対象が大きく育つように方向づけること
63	丁度：基準・目的に過不足なく一致させること	90	養育：食べ物を与えて、生活させること
64	正理：道理・筋道を整えること	91	割愛：大切にしているものを手放すこと
65	公平・公正：対等・平等に人と接すること	92	愛護・保護：献身的に奉仕する、他者の面倒をみること
66	富裕：利益を大きくしていくこと	93	献身・殉難：他者・社会・国のために尽くすこと
67	共有・分配：学び・富などを全体に分かち合うこと	94	奉仕：利害を超えて、人・組織に尽くすこと
68	繁栄：組織の発展・成長	95	寿命：命を長らえることを大切にすること
69	安定：激しい変動を穏やかな状態にすること	96	蘇生：活力が落ちているものを蘇らせること
70	協調・協働：立場の異なる者同士、助け合うこと	97	癒し：痛み・苦しみにある人や状況に安らぎを与えること
71	貢献：他者・世界に役に立つことをすること	98	尊重：人の意見・考え・立場に敬意を評すること
72	信頼：人柄や態度から、人を信じること	99	提供・おもてなし：心を込め、丁寧に自分を差し出すこと
73	謙遜：地味で控えめに生きること	100	包容：人・出来事そのままを受け入れ、包み込むこと
74	手配・配置：人を適材適所に振り分けること	101	永続・伝承：大切なものを受け継ぎ、末永く残していくこと
75	俯瞰：全体を見通すこと	102	親切・思いやり：他者を気遣い、親しく接すること
76	観察：対象の実態を知り、違いを注意深くみること	103	親密：互いに深く交際すること
77	つながり・団結：人々が力を合わせ、結び付くこと	104	魅了：人の心を鷲掴みにして、惹きつけること
78	直観：対象の本質を全体性から捉えること	105	好意：相手のために思う親切な気持ち
79	親和・社交：広く多くの人と交流すること	106	友情：対等な関係で精神的につながること
80	調和・融和：全体のバランスを整え一つにすること	107	恋愛・ときめき：対象に胸が躍ること
81	統合・融合：複数の事物を一体化して機能させること	108	慈愛：対象を慈しみ、可愛がる心

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

第一章のまとめ

これだけ、押さえれば OK！天才性の５つのポイント

①その人がその人らしく振る舞えるための「存在特性」。尚、行為の「上手・下手」は問われない。

存在特性には、主に「意識の方向（進退）」「意識の焦点」「行動特性」が内在している。

②その人の「個性」に内在し、「価値観」が関わる。個性・価値観を知る手掛かりとして、一霊四魂を採用する。

③天才性は、行動・結果の起点、欲求の核心。
意識が「未来」や「目的」に向かうときに働く。「何のために必要？」という問いで、より明らかになる。

④天才性は、《試練》を通じて磨かれる。

⑤天才性が明確になることで、意識が、自分という存在の最高司令者として振る舞いやすくなる。

その結果、健康になり、仕事のパフォーマンスも上がりやすくなる。

さて、天才性に従って行動しようとすると、時に「〜したいけど、〜できない」といった、何かに葛藤している感覚が浮上することがあります。

この葛藤を放置したままだと、せっかくの天才性が発揮しにくくなり

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

ます。

そして、「やっぱ、自分はダメだ〜」という結果を引き起こしやすくなります。更に、いくつものある葛藤が積み上がってしまうと、人生の試練になってしまいます。

そこで、第 2 章では、この葛藤や試練の発生原因を特定したうえで、逆に支援・恩恵に転換していく方法をご紹介します。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

第２章
「逆境力」～折れない心を鍛える技術

第２章以降は、
「無料動画ほしい」とコメントされた方限定でプレゼント！

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

《特典》自分を深掘りする各種シート

私の鍼灸院で実際に使用している、自分を深掘りするシートをプレゼントします。

【質問１～３のシート（補助シートを含む合計５枚)】にご記入いただけるでも、ご自身への理解がより深まります。

https://crevo.hp.peraichi.com/

参考文献
はじめに
『自分だけの才能の見つけ方』　山口揚平　SB　Creative
『なぜかうまくいく人のすごい無意識』　梯谷幸司　フォレスト出版
『５つの傷』　リズ・ブルボー　ハート出版
『自分を愛して』　リズ・ブルボー　ハート出版

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

個別にご相談されたい方

自分だけの天才性を発掘して
真の健康美で人生をステージ UP
『身口意ととのう脳活』個別セッション

ご自身のビジョンに沿った LIFE 戦略の創り込みと実行のサポート、その根底となる人格（思考/神経/エネルギー回路）の改造、天才性の開発などから、人生の変容を意図的に創り出していくことを個別にご相談されたい方向けに、リアル、あるいは Zoom での「身口意ととのう脳活」個人セッションを承っております。

個別セッションを継続的に受けることで、こうなります。

✓夢を叶える「体・言葉・意識」の技術が手に入る
✓自分だけの天才性を発掘し、活用できる
✓人生の目的やビジョンが明確になり、もっと「本当の私」として生きやすくなる
✓人生のネガティブをポジティブに転換、真の健康体が手に入る
✓仕事・人間関係の見えないワナにはまらなくなる
✓ビジネスの成果が上がる、「意識の拡大法」を掴める

個人セッションをご希望される方は、件名に「個別セッション希望」と記載し、具体的な「相談内容」を添えて、下記のメールアドレスにご連絡ください。

tekkan.no1@live.jp

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

【初回セッションを受けるまでの簡単な流れ】
メッセージを確認次第、折り返し、「セッション申し込み方法」「セッションの目的の確認」「セッション準備・セッション・セッション後のアフターサポート」「セッション料金」などをご案内する動画資料をお送りします。以上をご確認の上、初回セッションをお申込みください。

【初回個別セッションの内容】
「現状の課題・ゴール設定・人生の目的」の明確化

＜初回セッションの流れ＞
①セッション前の準備
各セッションシートと解説動画の提供
ゴール設定シート/人生曲線シート/両親との関係性など

②初回セッション　1 回
「過去〜現在」における人生の欠乏感から、
「天才性」「人生の目的」を明確にするセッション

③初回セッション後の zoom サポート
2 週間のセルフイメージ・アクション戦略の確認

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

【提供者紹介 】

川上　哲寛(カワカミ　テッカン)

鍼灸師/天才性再生コーチ

スキル/ブレイン・アップデート 1 級

トランスフォーメショナルコーチ®

出身地：東京都・武蔵野市

スポーツ：中学～大学まで野球部所属

尊敬する人：田坂広志、イチロー、大石順境

漢方医学、キネシオロジー、活法、脳科学、スポーツ科学、NLP（神経言語プログラミング） など、その道の名人・達人に師事し、20 年以上の歳月をかけ伝統的かつ科学的手法に基づいた独自の自己実現プログラム「身口意ととのう脳活」プログラムを確立。

臨床 20 年で、のべ 70,000 人以上の自律神経症状改善に従事してきた。その経験から、病気・症状の根本原因は、過去記憶の誤作動による「身口意の不一致」であることに気づく。

病気・症状に限らず、ビジネス上の課題、家庭問題、スポーツのパフォーマンスに至るまで、社会生活上の様々な問題の根本は無意識に起因、同列の事象として取り扱っている。

鍼灸の臨床の傍ら、クライアントの抱える先入観や思い込みを体の反応から特定し、記憶のやり直しを図ることで脳の 95％を支配する潜在意識をフル活用させる、セッションとワークショップを精力的に開催中。ショップを精力的に開催中。

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami

心身の不調や人生の試練が伝える
４つの天才性

2023 年 6 月 3 日　初版第 1 版発行

著　者　川上哲寛
発行者　吉祥出版
発行所　漢方鍼灸院　大阪市てんま吉祥堂
〒530-0041　大阪府大阪市北区天神橋４－８－２５
長田ビル３F
装丁・本文デザイン　川上哲寛

無断転載・複製禁止　　Copyright©2023　Tekkan Kawakami